

牛久市総合教育会議議事概要		日時	令和7年1月24日（金曜日）
件名	令和6年度第3回牛久市総合教育会議	場所 時間	牛久市役所 本庁舎3階庁議室 午後4：00～午後4：45
出席者	(出席者) 沼田市長、川村教育長、吉原教育長職務代理者、八木橋教育委員、宮本教育委員 (事務局) 小川教育部長、吉田教育委員会次長、高橋教育委員会次長、教育総務課宮嶋課長補佐、小河原主査 糸賀経営企画部長、淀川経営企画部次長兼政策企画課長、政策企画課高橋主任、坂入主事補 (傍聴者) 0名 (順不同・敬称略)		
	議事内容 (1) 教育大綱（案）の策定について (2) その他 ・第2期牛久市教育振興基本計画策定の進捗について		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 議事 (1) 教育大綱（案）の策定について 上記について事務局より説明を行い、出席者が意見を述べる。 なお、主な意見は以下のとおりである。 - 大綱をもとに多くの方々に支えられ育てていただいているということに改めて気が付くことができた。社会情勢の変化に伴い学校教育も変化していかなければならない。その中で子供たちが牛久で育って幸せだったと少しでも感じていただけたらと思う。 - 教育大綱4ページ3行目について「児童生徒及び教職員の人権教育を推進するとともに～」とあるが、児童生徒と教職員が並列で記載されており少し違和感がある。教職員の人権教育の推進ということであれば7ページの教員の資質・能力向上の方に記したほうが相応しいのではないか。空いた部分については、児童生徒の道徳教育を推進していく形にしたほうが今の時代に即したものになるのではないか。 (2) その他 第2期牛久市教育振興基本計画策定の進捗について 上記について事務局より説明を行い、出席者が意見を述べる。 なお、主な意見は以下のとおりである。 「自己有用感・自己肯定感向上のための行動」という部分について、一概に「行動」と言っても少し理解していただけないかもしれない、活動或いは環境づくり、機会、育成等の違う表現の方が良いのではないか。			

- ・ 子供たちの将来の国際的な活動について力を入れているが、外国を学ぶ、異文化を尊重するということには、自分の文化も尊重して欲しい。日本人は謙遜して、いいところをひけらかす様に話すのを不得手としているが、これから国際交流をする上で、自分たちの良いところはこれだとはっきり言えるようなそういう子供たちに育って欲しいと思う。
- ・ 英語教育を推進するのは大事なことだが、その前に日本語教育、そして日本の歴史や文化について知るのも、その根底として必要だということを我々教育に関わる者が伝えていかなければならない。教育が学力重視になってしまっているが、本来教育は人間として一番大事な事をきちんと身につけた大人に成長することが本来の目的だと思う。
- ・ 児童虐待や養護に関する悩みを抱えている方が年々増加し、地域とのつながりが希薄になってきている。学校教育の中でもPTAがなくなる地域もあるようで、コミュニティスクールはもちろん学校と保護者と地域がどう関わっていくべきかということ子供たちのためにも考えていかなければならない。
- ・ 校内及び通学時における事件について年間131件という件数にはとても驚いた。いつどこでこういったことが起こるかわからないので保護者はもちろん学校でもどういった対応をするべきか子供たちと話し合い危機管理に努めながら守っていく必要がある。

4. 閉会